

平成 28 年 12 月 7 日
事務連絡

プレス各位

全国農業機械商業協同組合連合会

寒冷の候、貴社いよいよご清祥のこととお慶び申し上げます。平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、12月6日に開催しました、本会第四回理事会の概要を下記に取りまとめましたので、ご報告申し上げます

記

1. 開催日時 平成 28 年 12 月 6 日 (火) 14 時～16 時
2. 開催場所 ホテルアジュール竹芝 (東京都港区海岸)
3. 議案 平成 28 年度事業報告並びに収支決算 (案)
平成 29 年度事業計画並びに収支予算 (案)
平成 29 年度共同購買事業推進方針、目標額等
中期行動計画
組織運営検討委員会の検討結果

上記について討議された。

以下概要

① 平成 28 年度について

- 今年度は創立 60 周年にあたり、2 月に明治記念館において式典、祝賀会を開催、多くの関係者にご参集いただいた。
- また 4 月の平成 28 年熊本地震においては、熊本大分商協に全国の組合員から見舞金が送られた。
- 購買事業においては、商協及び組合員企業の経営厳しい中において前年並みの実績を残すことができた。
- 6 月に実施した連合会研修会では、グループディスカッションを中心とした若手向け研修会に 40 名が参加した。
- 同じく 6 月には「農機販売店事業展開マニュアル」を作成配布し、今後の農機店経営の一助となるよう、今後活用していくこととした。

② 平成 29 年度

- 農業競争力強化プログラムがまとめられたことを受け、行政との連携強化、JA 改革の動向を注視しつつ、小規模店等への情報提供の強化等、公正な商取引環境の維持に資する活動を展開していく。

事業別では、

- 購買事業は、今年度並みの売上を目指すとともに消耗品を含め新規商材開拓等に注力する。
- 研修会は、本年に引き続き若手向け研修に重点を置く。連合会研修会は、商協職員向け研修会、若手経営者向け研修会を実施する。また各ブロック単位、商協単位の若手研修、交流を積極的に支援する。
- 中古農機査定士制度の普及は、整備事業の重要性に鑑み、引き続き制度の普及定着に向け農機化協会、全農等と連携し進めていく。特に来年度はユーザー向けに制度の認知度向上に向けた PR を強化する。
- 例年実施している整備動向等調査は、より組合員の経営に資するデータを提供するため、内容の一部を変更し実施するとともに、整備委員会、技能士会等で調査結果の分析を行い、組合員に情報提供する。
- 中期行動計画については、購買、教育情報の一層の充実を図るものとする。また農機販売を基盤とした上での地域農業の支援事業等に取り組む組合員の増加を踏まえ、本会においてもその体制整備に努める。

以上